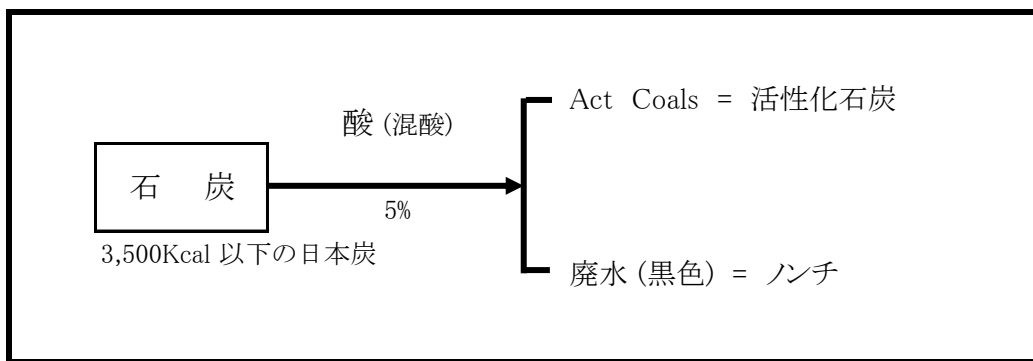

ハンチ 概説

発明者： 川副 東 博士
特開 157833 (他、数十件)

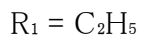
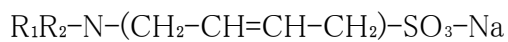
販売元
株式会社ウォーテック

I. ノンチとは

石炭（日本製の3,500Kcal 以下のもの）に、酸を混入し多孔質炭をつくと活性炭（Act Coals）となりますが、この製成過程に於いて黒色の廃水が同時に発生します。
この廃水が「ノンチ」と呼ばれるものです。



これを化学記号で示しますと、



デ・アルキル・アミノ・アリール・スルフォネート

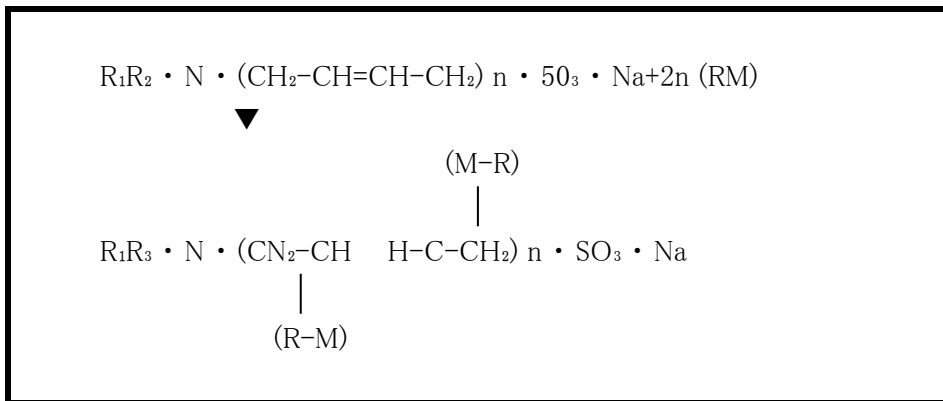
N = 11~13 となります。

II. ノンチの応用

① 消臭効能

ノンチは、高分子の悪臭物質 (RMと称す) に下記のように反応し、**発臭基を完全に飽和、無力化する**機能を有します。

実施例としては、あらゆる悪臭の除去を促すことから、ソウルオリンピックの会場消臭や、大阪万博、青函トンネル内、東北新幹線などに噴霧され、その実績が評価されています。



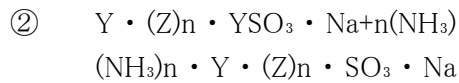
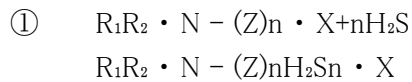
- ・ 噴霧式で被対象物に直接吹きかけることで消臭する。
- ・ 霧状のノンチに被対象物を浸漬させることで消臭する。
(紙や布など、繊維製品に適する)
- ・ 紙または布などに含浸させることで多用途に使う。

そもそも悪臭とは、生物の排水汚水や生体腐敗、尿、塵介汚水などにより発生するものであるが、化学的には大別すると、“**イオウ系**”のものと“**チツソ系**”のものに区別されます。

イオウ系のもの	チツソ系のもの
イオウ酸化物 (SO ₂)	アンモニア (NH ₃)
礫黄水素 (H ₂ S)	酸化チツソ (NO ₂)
メチルメルカプタン (CH ₃ SH)	ペプトン類
ジメチルサルファルト ((CH ₃) ₂ S)	

などがあります。

ノンチは、**この双方の悪臭分子に対しても消臭効果を明らかに示す**特性があります。



※ Z = CH₂-CH=CH-CH₂ の略です。

また、刺激臭の除去についていうと、その代表的なものとして、ハロゲン、アルデヒド類があります。

これらは、ノンチの持つ二重結合に直接作用結合し、二重結合部を満足させます。

またガス反応は、適当する触媒の存在が必要とされていましたが、ノンチの反応は、Gass と Gass Reation の反応を開発したもので、ノンチと悪臭ガスが大気中で直接結合し、消臭効果を示します。

いずれにしる「ノンチ」のように、イオウ系、チン系を問わず pH に関係なく相当広い温度範囲で、消臭効果があり永続性を示すものは未だにありません。

更に「ノンチ」は、毒性がほとんどなく、毒性試験では LD₅₀=24,134g/kg以上を示し、人体への影響は全くなく、安全性が証明されています。

従って「ノンチ」を皮膚に塗布したり、点眼しても体質に異常がないことも、特長のひとつになっております。

② 防曇効能

ノンチには、これを噴霧または塗布することで曇り止めを実現する効能があります。

つまり、ノンチには、ガラスやホーロ、プラスチックなどの表面と親和性が強く、且つ塗布すると濃度には関係なく、ゴミやホコリ、電磁波などを防ぎ美しい表面を保ちます。

③ 静電気制御／磁気除去／清掃効能

ノンチには静電気を吸着し、磁気をも吸着してしまう機能があります。そのことから、電磁を原因として付着させていたゴミの要因を取り除くことができ、結果として清掃機能を持つとの効果を得る事が出来るというわけです。

TV やパソコンのブラウン管を布で拭くと真黒になりますが、ノンチで清拭すると約 100日間程度はホコリを付着させることはありません。この機能は化粧品としても応用が可能で、既に商品化されています。

OA機器や人体の静電気が溢れている現在、この制御力は広範囲に活用されることが予想されます。

ノンチの上記の制御力の原理はノンチの皮膜がゴミをはねつける為で、酸にもアルカリにも作用する双極性があること(グイポールE-メント)が特長といえます。